



さいたま市の国土交通省施策 に対する要望内容

平成 26 年 10 月 31 日、国土交通省に太田昭宏大臣を訪ね、さいたま市の課題で国土交通省が担当する事業について直接、大臣に以下の点を要望致しました。

- ①首都高速埼玉新都心線」の東北自動車道までの延伸・地域高規格道路「新大宮上尾道路」の早期完成
- ②さいたま新都心地区の広域防災拠点化
- ③駅ホームドアの設置推進
- ④大宮始発新幹線の 신설とハブステーション化
- ⑤さいたま築堤の整備及び荒川河川防災ステーションの建設
- ⑥高速鉄道東京 7 号線の延伸促進



(西田参議員と見沼ランプを視察)

太田国土交通大臣に、 さいたま市の課題を要望！

さいたま市は、人口 125 万人を有する首都圏の政令指定都市として、「多彩な都市活動が展開される東日本の交流拠点都市」を将来都市像に掲げて成長を続けています。

また鉄道・高速道路網の結節点として、交通政策上も重要な位置にあり、さいたま新都心地区には、国の地方支分部局が集

積しており、「首都圏の広域防災拠点都市づくり」をめざしています。

本要望では、さいたま市の取組を進めるに当たり、国土交通省所管の施策について、御検討いただけるよう要望しました。

かみさか たつあき “市議会便り”



現在、私は保健福祉委員会委員として、また決算行政評価特別委員会委員として、待機児童ゼロ対策や高齢者福祉施策の充実に取り組んでいます。また、ノーマライゼーション条例を掲げるさいたま市において、障がい者福祉向上や発達障がい児・者への施策などについても議会質問で取り上げています。

今後さらに加速化する少子・超高齢化社会を見据え「安心して暮らせる“まち”」へ、一歩も二歩も前進させるべく全力で働いてまいります。これからも“あなたの声に一生懸命！”挑戦してまいります。